

準要保護児童生徒認定申請書

令和 年 月 日

多治見市教育委員会 様

申請者（保護者）

住所 多治見市 町 丁目 番地

(アパート名) 号室

氏名

電話

(※)本人が自署しないときは、押印してください。

申請者及び世帯構成員は、下記の誓約・同意事項に誓約・同意の上、就学援助を申請します。

学校名	年 組	児童生徒名			
世帯構成	人員	氏名（本人も含む）	続柄	生年月日	職業・学校名
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
世帯状況	該当するものどれか1つに○をつけてください。				住宅の形態 (家賃 円/月) 3 その他 ()
	1	生活保護が停止又は廃止になりました。			
	2	地方税法第295条の第1項に基づく市町村民税の非課税となっています。			
	3	生活困窮の理由により、市町村民税の減免を受けています。			
	4	国民年金保険料の免除を受けています。			
	5	生活困窮の理由により、国民健康保険料の減免又は徴収の猶予を受けています。			
	6	児童扶養手当の支給を受けています。			
	7	生活福祉資金の貸付を受けています。			
	8	生活保護に準じる程度に収入が少ない状態です（当該年度に納付すべき市町村民税の課税の基礎となった世帯全員の総取得金額等が生活保護基準の1.5倍以内）。			
援助を希望される理由を詳しく書いてください。					

※添付書類

- ・世帯状況で3、4、5又は7に該当する方は、それを証明するものを添付してください。

【誓約・同意事項】

- 1 準要保護の認定要件及び他の市区町村からの就学援助の有無を確認するため、税情報等の公簿等を確認すること及び他の市区町村その他の行政機関等に資料の提供を求めることに同意します。
- 2 1により必要な確認が行えない場合、求めに応じ関係書類を提出します。
- 3 新入学児童生徒学用品費の支給を受け、入学前に他の市区町村へ転出した場合は、支給を受けたことを当該他の市区町村に通知することに同意します。
- 4 家庭の状況が好転するなど準要保護児童生徒の認定基準に該当しないこととなったときは（以下「基準非該当」という。）、速やかに届出をします。
- 5 4の場合は、既に給付を受けた援助費のうち、基準非該当の期間相当分を返還します。
- 6 偽りその他の不正な手段により支給を受けた場合、又は教育委員会が返還を要すると認める場合は、既に支給を受けた援助費を返還します。
- 7 学校給食費が無償化された場合は、市教育委員会から学校給食会計に学校給食費を直接支払うことに同意します。

※以下の欄は保護者の方は記入しないでください。

学校長及び担任意見	
上記の通り準要保護児童生徒と認めていただきたい。	氏名 ㊟ 学校長 ㊟
民生委員の所見	氏名 ㊟

記入例

・学校に申請書を提出する日付を記入

準要保護児童生徒認定申請書

令和〇年〇月〇日

多治見市教育委員会 様

申請者(保護者)

住所 多治見市 音羽 町 1 丁目233番地
(アパート名)エキキタアパート 202 号室

氏名 多治見 太郎

電話 22-1111

(※)本人が自署しないときは、押印してください。

就学予定の学校名を記載してください。

申請者及び世帯構成員は、下記の誓約・同意事項に誓約・同意の上、就学援助を申請します。

学校名	〇〇中学校	年 組		児童生徒名	多治見 花子
世帯構成	人員	氏名(本人も含む)	続柄	生年月日	職業・学校名
	1	多治見 太郎	父	S42. 3. 5	会社員
	2	多治見 月子	母	S45. 10. 6	パート
	3	多治見 次郎	兄	H24. 5. 5	〇〇中学校2年生
	4	多治見 花子	本人	H30. 7. 24	〇〇小学校1年生
	5	多治見 吾郎	祖父	S15. 11. 2	アルバイト
	6	多治見 星子	祖母	S19. 3. 6	無職
7					
世帯状況	該当するものどれか1つに○をつけてください。				住宅の形態
	1	生活保護が停止又は廃止になりました。			
	2	地方税法第295条の第1項に基づく市町村民税の非課税となっています。			② 借家 (家賃 4.6万 円/月)
	3	生活困窮の理由により、市町村民税の減免を受けています。			3 その他 ()
	4	国民年金保険料の免除を受けています。			
	5	生活困窮の理由により、国民健康保険料の減免又は徴収の猶予を受けています。			
	6	児童扶養手当の支給を受けています。			
	7	生活福祉資金の貸付を受けています。			
	⑧	生活保護に準じる程度に収入が少ない状態です(当該年度に納付すべき市町村民税の課税の基礎となった世帯全員の総取得金額等が生活保護基準の1.5倍以内)。			
※8は、1~7いずれにも該当しない場合のみ選択					
援助を希望される理由を詳しく書いてください。					
前の会社を3月に退職し、今の会社に10月に就職したばかりです。いまだ、父母の年金、父と妻の収入を合わせても生活が安定しない状況です。そのため子どもの就学に必要な援助を希望します。					

・下記の誓約・同意事項に同意の上、生計を共にする全ての人(単身赴任者等も含む)

※学年は、令和8年4月現在の学年を記

※無職の場合は、「無職」と記入

・いずれか一つに○をつける
・かつこの中も記入

・現在の家庭の生活状況を踏まえ、具体的に記入してください。

・○は一つだけ

※添付書類

・世帯状況で3、4、5又は7に該当する方は、それを証明するものを添付してください。

【誓約・同意事項】

- 準要保護の認定要件及び他の市区町村からの就学援助の有無を確認するため、税情報等の公簿等を確認すること及び他の市区町村その他の行政機関等に資料の提供を求めること
- 1により必要な確認が行えない場合、求めに応じ関係書類を提出します。
- 新入学児童生徒学用品費の支給を受け、入学前に他の市区町村へ転出した場合は、支給を受けたことを当該他の市区町村に通知することに同意します。
- 家庭の状況が好転するなど準要保護児童生徒の認定基準に該当しないこととなったときは(以下「基準非該当」という。)、速やかに届出をします。
- 4の場合は、既に給付を受けた援助費のうち、基準非該当の期間相当分を返還します。
- 偽りその他の不正な手段により支給を受けた場合、又は教育委員会が返還を要すると認める場合は、既に支給を受けた援助費を返還します。
- 学校給食費が無償化された場合は、市教育委員会から学校給食会計に学校給食費を直接支払うことに同意します。

※以下の欄は保護者の方は記入しないでください。

学校長及び担任意見	
上記の通り準要保護児童生徒と認めていただきたい。	氏名 ㊟
	学校長 ㊟
民生委員の所見	
	氏名 ㊟